

ORACLE®

# 2002年5月期 決算説明会

日本オラクル株式会社

2002年7月16日

日本オラクル株式会社  
常務執行役員  
最高財務責任者

野坂 茂

# 1. 2002年5月期決算概要

# (1)決算実績ハイライト

(百万円)

	01/5期	02/5実績	前期比
売上高	87,731	86,362	▲ 1.6%
営業利益	31,883	31,017	▲ 2.7%
営業利益率	36.3%	35.9%	
経常利益	32,124	31,095	▲ 3.2%
経常利益率	36.6%	36.0%	
当期純利益	18,325	17,620	▲ 3.8%
当期利益率	20.9%	20.4%	
1株当たり当期利益	142.95円	137.45円	
1株当たり年間配当金	100.00円	100.00円	

ORACLE

## (2) 部門別売上構成①

(百万円)

	01/5期	02/5期	前期比
データベース・テクノロジー	52,143	44,578	▲14.5%
ビジネス・アプリケーションズ	5,038	3,452	▲31.5%
ソフトウェアプロダクト小計	57,181	48,030	▲16.0%
サポートサービス	18,934	24,811	31.0%
エデュケーションサービス	3,735	4,021	7.7%
コンサルティングサービス	7,879	9,499	20.6%
サービス小計	30,549	38,332	25.5%
合計	87,731	86,362	▲1.6%

(注)データベース・テクノロジーは従来のサーバー・テクノロジーとソフトウェアツールの合計

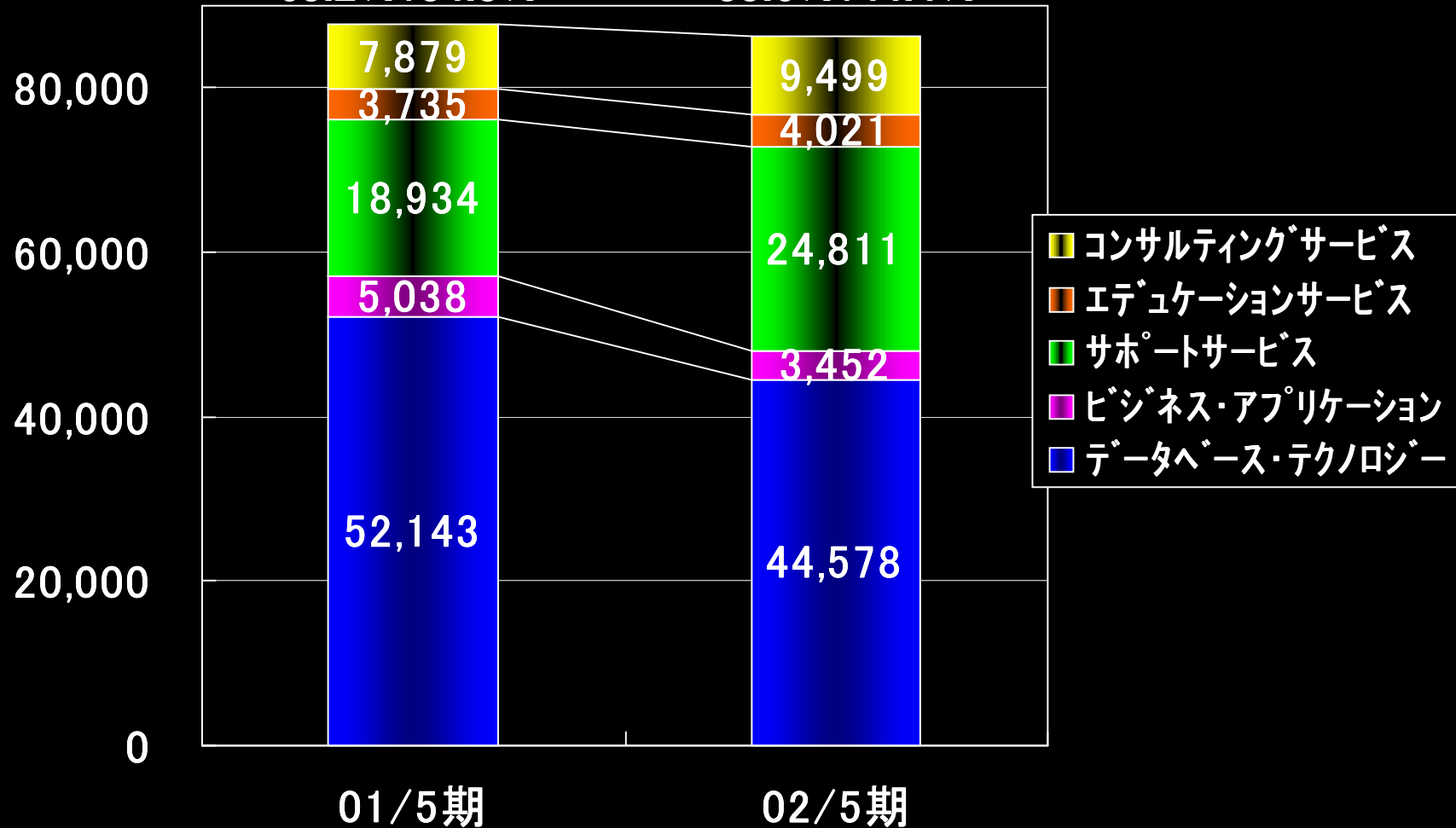
ORACLE

## (2) 部門別売上構成②

ソフトウェアプロダクト部門とのサービス部門の割合

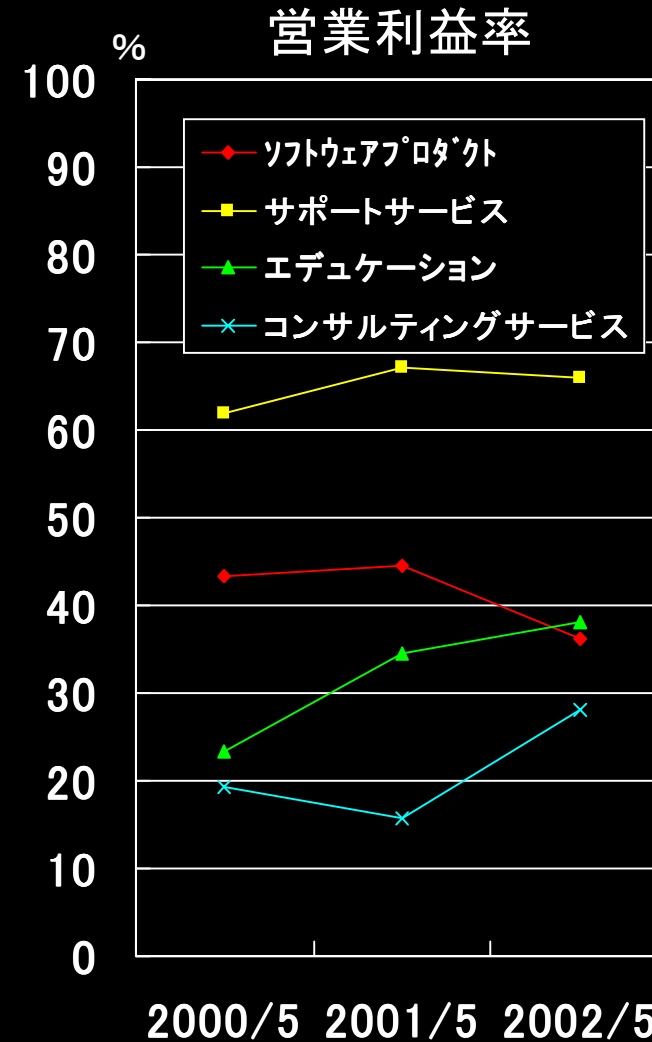
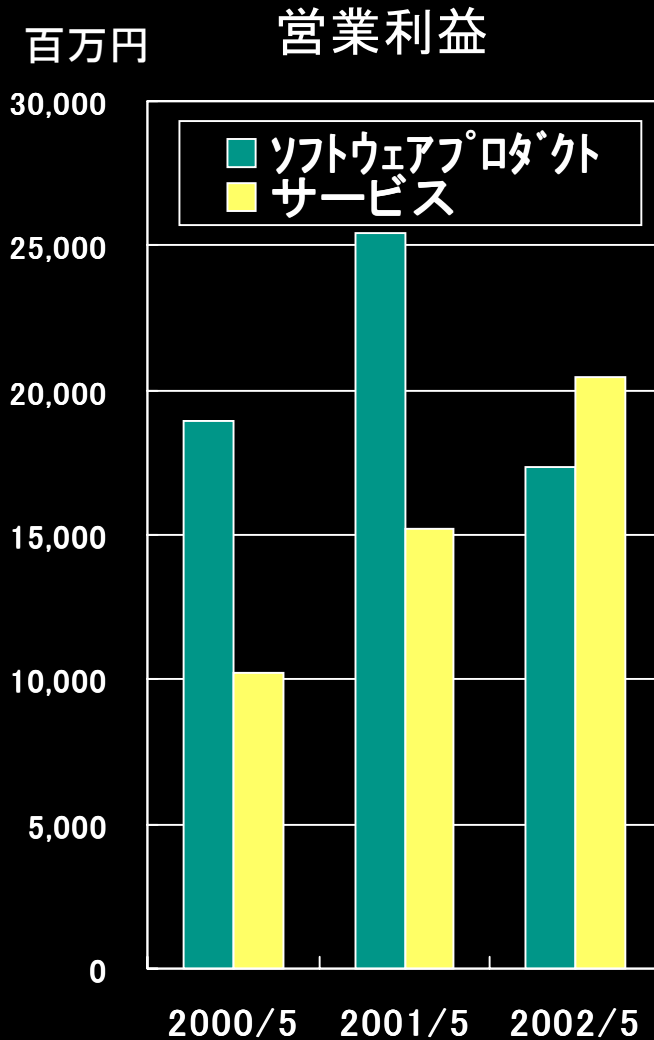
百万円

65.2% : 34.8% → 55.6% : 44.4%



ORACLE

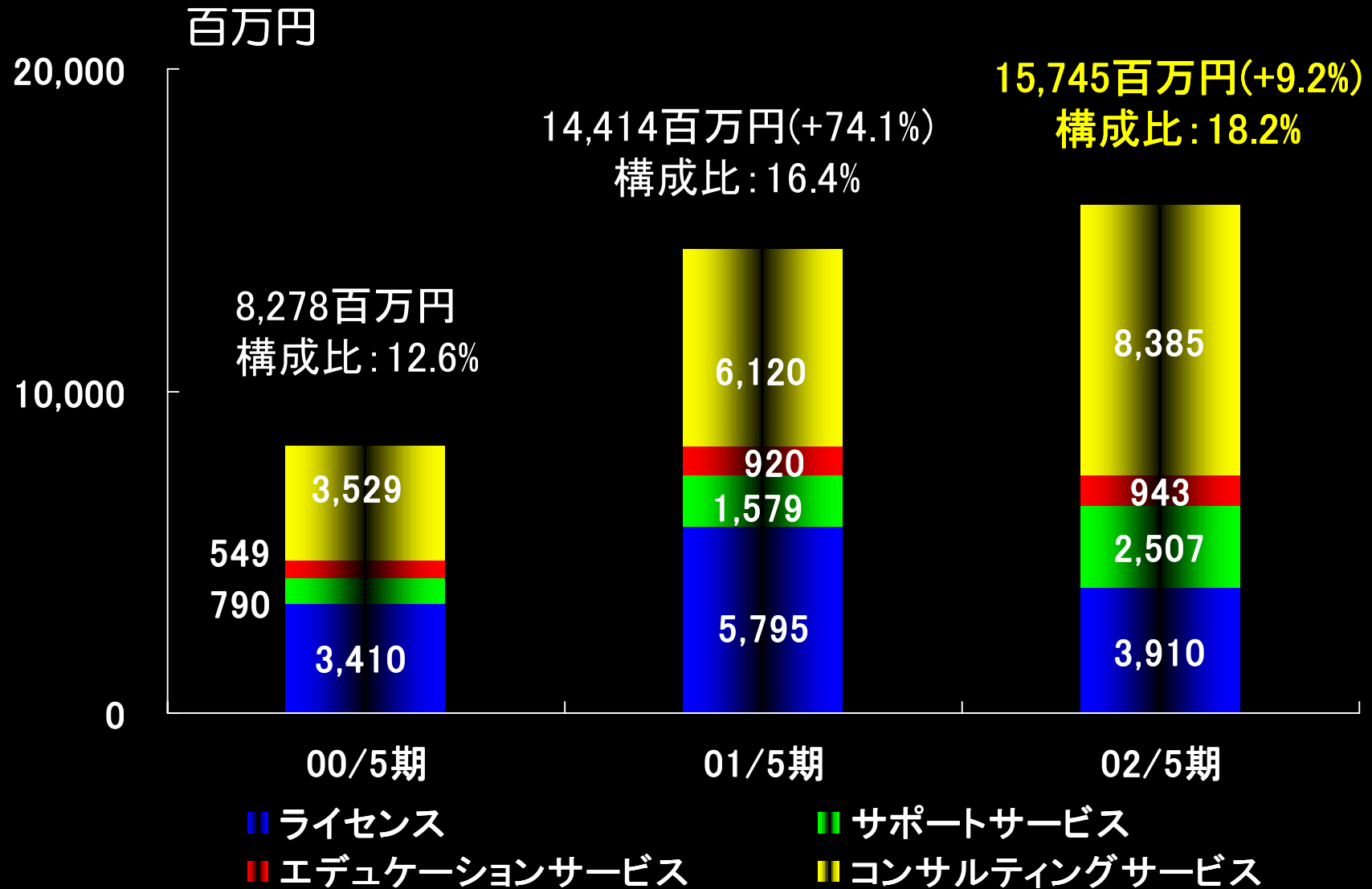
### (3) 営業利益内訳



(注) 管理部門費用等の控除前の数値



# (4) ソリューションビジネス実績



ORACLE®

(注) ソリューションビジネス実績：当社の総売上のうち、ビジネス・アプリケーションに関わるソフトウェアプロダクトやサービス部門の売上

## 2. 部門別概況

# (1)データベース・テクノロジー(販売動向)

EE

SE

UNIX

低調

設備投資減  
による

IA (Windows & Linux)

価格戦略  
(カバレッジ向上)  
Linux堅調

好調

(注) EE: Enterprise Edition、SE: Standard Edition

IA: Intel社製CPUを使用したサーバの総称

ORACLE®

# (1)データベース・テクノロジー(市場動向)

2001年国内RDBMS(UNIX OS)  
市場ベンダー別出荷金額シェア

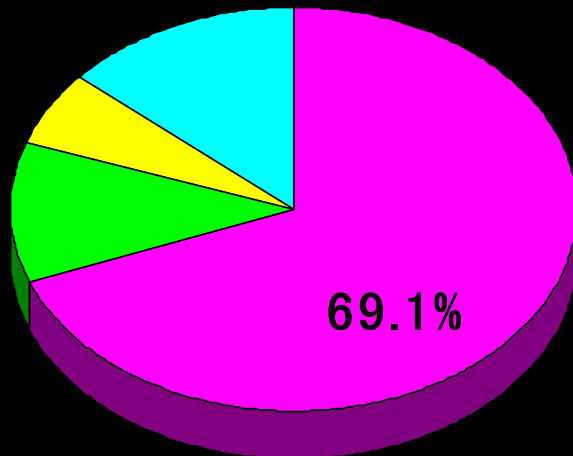
## 成長率(前年比)

RDBMS(UNIX)市場 9.0%

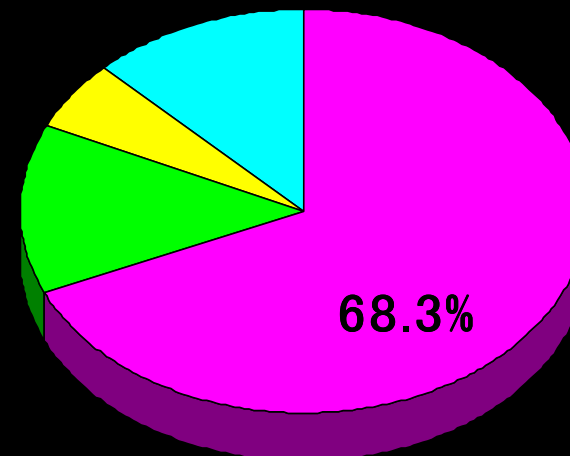
## 市場シェア

Oracle 68.3%

CY2000



CY2001



■ Oracle  
■ A社  
■ B社  
■ Others

(注)ライセンス売上ベース

出典: IDC Japan (July 2002) 無断転載を禁じます

ORACLE

# (1)データベース・テクノロジー(市場動向)

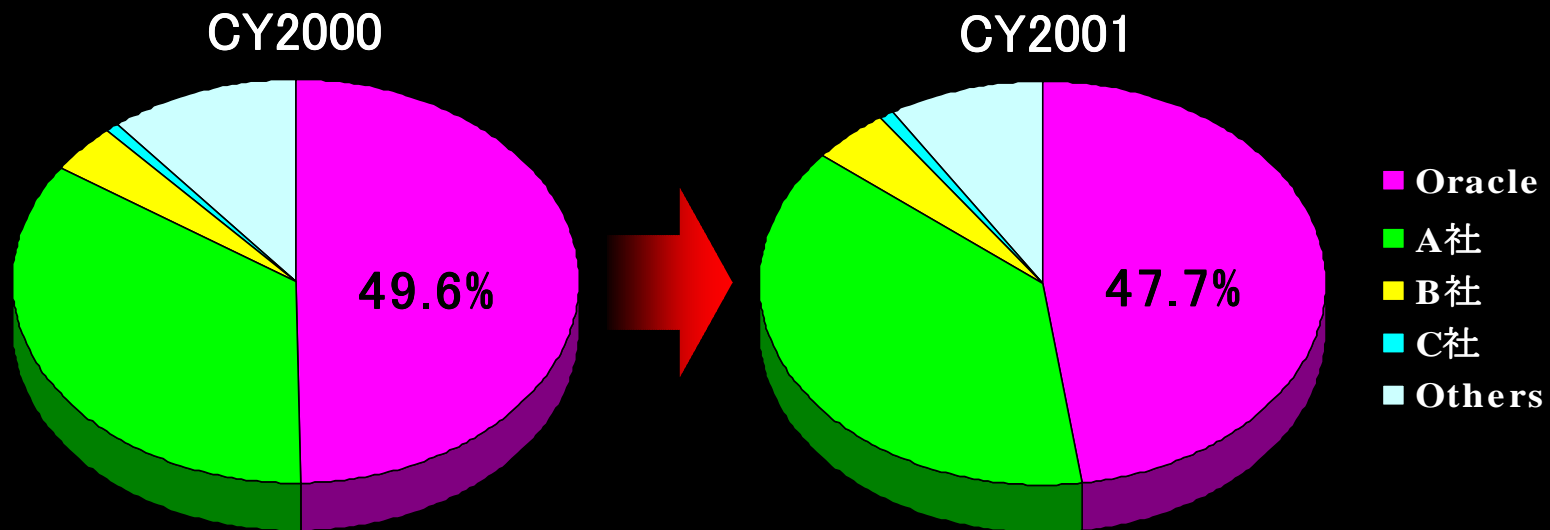
2001年国内RDBMS(Windows & Linux OS)  
市場ベンダー別出荷金額シェア

## 成長率(前年比)

RDBMS(Windows & Linux)市場 29.1%

## 市場シェア

Oracle 47.7%



(注)ライセンス売上ベース

出典: IDC Japan (July 2002) 無断転載を禁じます

ORACLE

# (1)データベース・テクノロジー

## 当期のトピックス

- Oracle9i Database発売開始(2001年10月)
- RAC(Real Application Clusters)拡販のためにパートナー各社との協業構築
  - ・コンパックとクラスタ・ソリューション分野での事業協力
  - ・RACソリューションセンター
    - 新日鉄ソリューションズとハードメーカー3社共同 etc.
- DBソフトの新市場の開拓活動の継続
  - ・電子政府
  - ・ブロードバンド
  - ・ライフサイエンス



ORACLE®

(注)RACに関しては弊社ホームページをご覧ください。 <http://www.oracle.co.jp/9i/RAC/>

(敬称略)

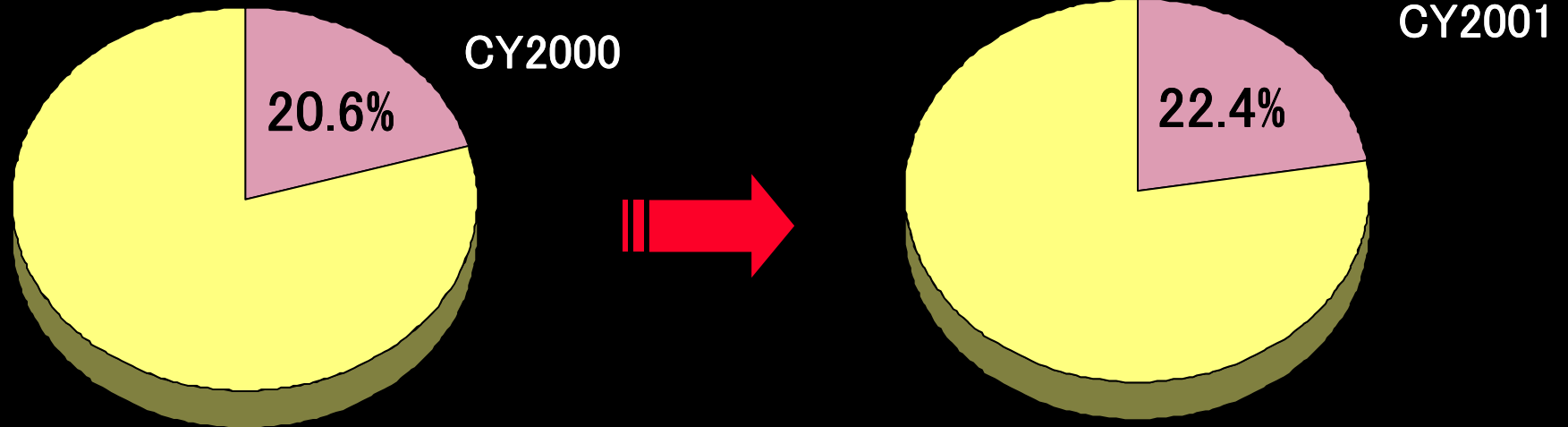
## (2)ビジネス・アプリケーション

### 概況

- 景気停滞により情報化投資が回復せず  
主力顧客である製造業を中心に案件規模の縮小、延期
- 案件数自体は伸びており、数量ベースの需要は堅調
- 新規モジュール展開、既存顧客への販売の遅れ

## (2) ビジネス・アプリケーション

### ● 国内ERP市場でのシェア



### ● 当期の購入実績

**合計106社**(既存ユーザ含む)

**累計300社**(2001年5月) → **343社**(2002年5月)

### ● パートナー企業数

88社(2001年5月) → **131社**(2002年5月)

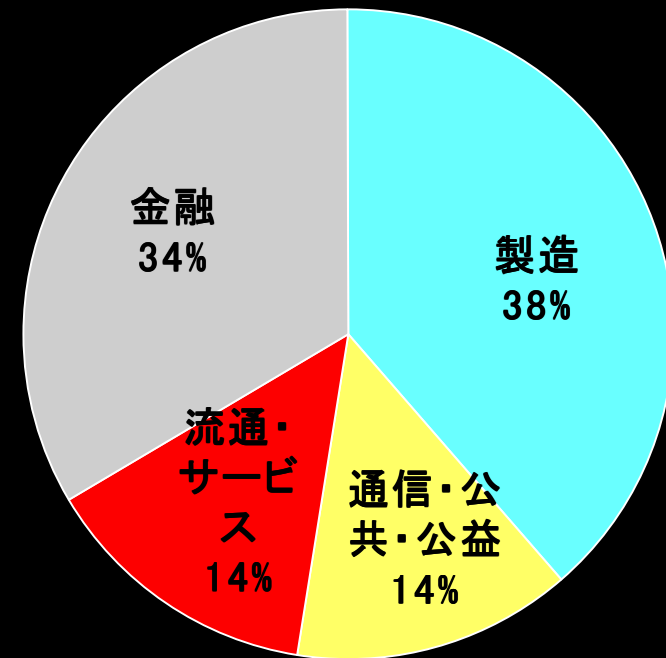
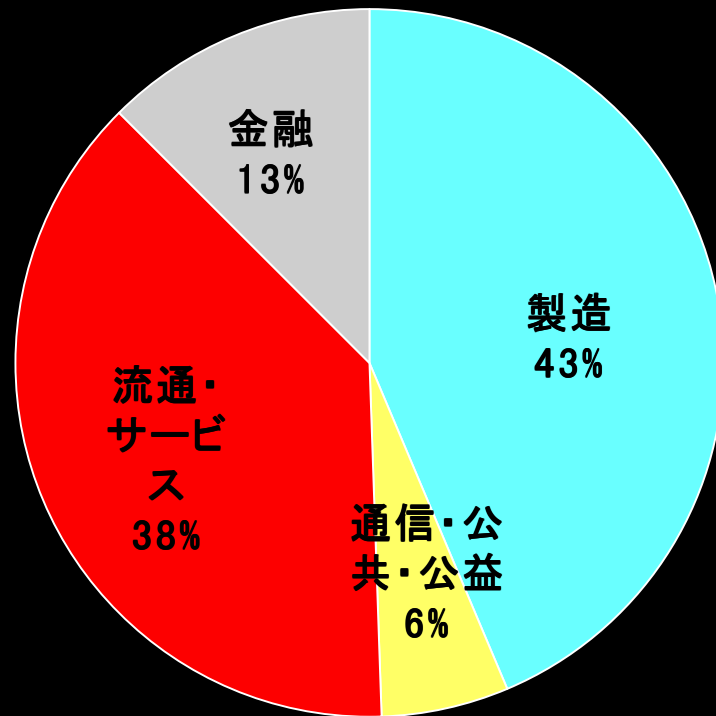
(出典: 矢野経済研究所調べ 2001年10月 無断転載を禁じます)



## (2)ビジネス・アプリケーション(業種別売上高)

01/5期実績: 5,038百万円

02/5期実績: 3,452百万円



## 概況

### (3) サービス部門

#### <サポートサービス>

- ライセンスの売上減による影響をサポートの需要増により補う
- プレミアム・サポートの強化による顧客満足度の向上
  - Online DBAのテスト提供

#### <エデュケーションサービス>

- 定期コースの売上減をオラクル・マスター関連の売上増がカバー
  - オラクル・マスター: 資格者数6.6万人(前期末比2.6万人増)
- e-Learning: OLN (Oracle Learning Network) の販売強化・機能拡充

#### <コンサルティングサービス>

- オラクルのコンサルティング実績への信頼から大型案件獲得
- 早期導入シナリオに基づく提案を開始 (Fast Forward iProcurement等)

## (4)売上原価・販管費・特別損益

( )内は前期比増減率

費目	01/5	02/5	コメント
売上原価	34,603	33,323 (△3.7%)	・ライセンス売上の減少に伴い、支払ロイヤルティが減少。 ・サポート部門に関しては第4四半期からロイヤルティ適用範囲拡大により増加(前期比39.5%増)
販売費・ 一般管理費	21,243	22,021 (3.6%)	業務委託費、人件費の増加
特別損失	502	533	投資有価証券評価損:347百万円 有価証券売却損:104百万円等
従業員	1,551	1,623	72人増
コントラクター	471	669	198人増

日本オラクル株式会社  
代表取締役社長  
最高経営責任者

新宅 正明

### 3 . 2003年5月期 業績予想

# (1)2003年5月期 業績予想

(百万円)

	02/5実績	03/5予想	前期比
売上高	86,362	88,600	2.6%
売上総利益(率)	53,039(61.4%)	48,000(54.2%)	▲ 9.5%
販売管理費	22,021	21,400	▲ 2.8%
営業利益(率)	31,017(35.9%)	26,600(30.0%)	▲ 14.2%
経常利益(率)	31,095(36.0%)	26,600(30.0%)	▲ 14.5%
当期純利益(率)	17,620(20.4%)	15,200(17.2%)	▲ 13.7%
1株当たり当期利益	137.45円	118.57円	
1株当たり配当金	100.00円	120.00円	
		(中間35円・期末85円)	

ORACLE

# (1)2003年5月期 売上高予想(部門別内訳)

(百万円)

	02/5実績	03/5予想	前期比
データベース・テクノロジー	44,578	40,000	▲10.3%
ビジネス・アプリケーション	3,452	5,000	44.8%
ソフトウェアプロダクト計	48,030	45,000	▲6.3%
サポートサービス	24,811	28,000	12.9%
エデュケーションサービス	4,021	4,100	2.0%
コンサルティングサービス	9,499	11,500	21.1%
サービス計	38,332	43,600	13.7%
売上高合計	86,362	88,600	2.6%

(注)データベース・テクノロジーは従来のサーバー・テクノロジーとソフトウェアツールの合計

ORACLE

## (2) データベース・テクノロジー

### ● 既存市場

EE

SE

UNIX

- ・通信分野を除く既存分野はフラット～微減
- ・通信分野は投資減

- ・コストダウン志向に合致
- ・機能限定だがミッションクリティカルの要求は満たす

IA

- ・RACによる拡販

- ・成長性あるが競争激化
- ・価格戦略でカバレッジ向上
- ・Linux
- ・iSD

ORACLE®



## (2)データベース・テクノロジー

### ●新規市場

UNIX

・新分野の伸長  
ブロードバンド  
ライフサイエンス  
電子政府

ハイエンド～  
ミッドレンジ

IA

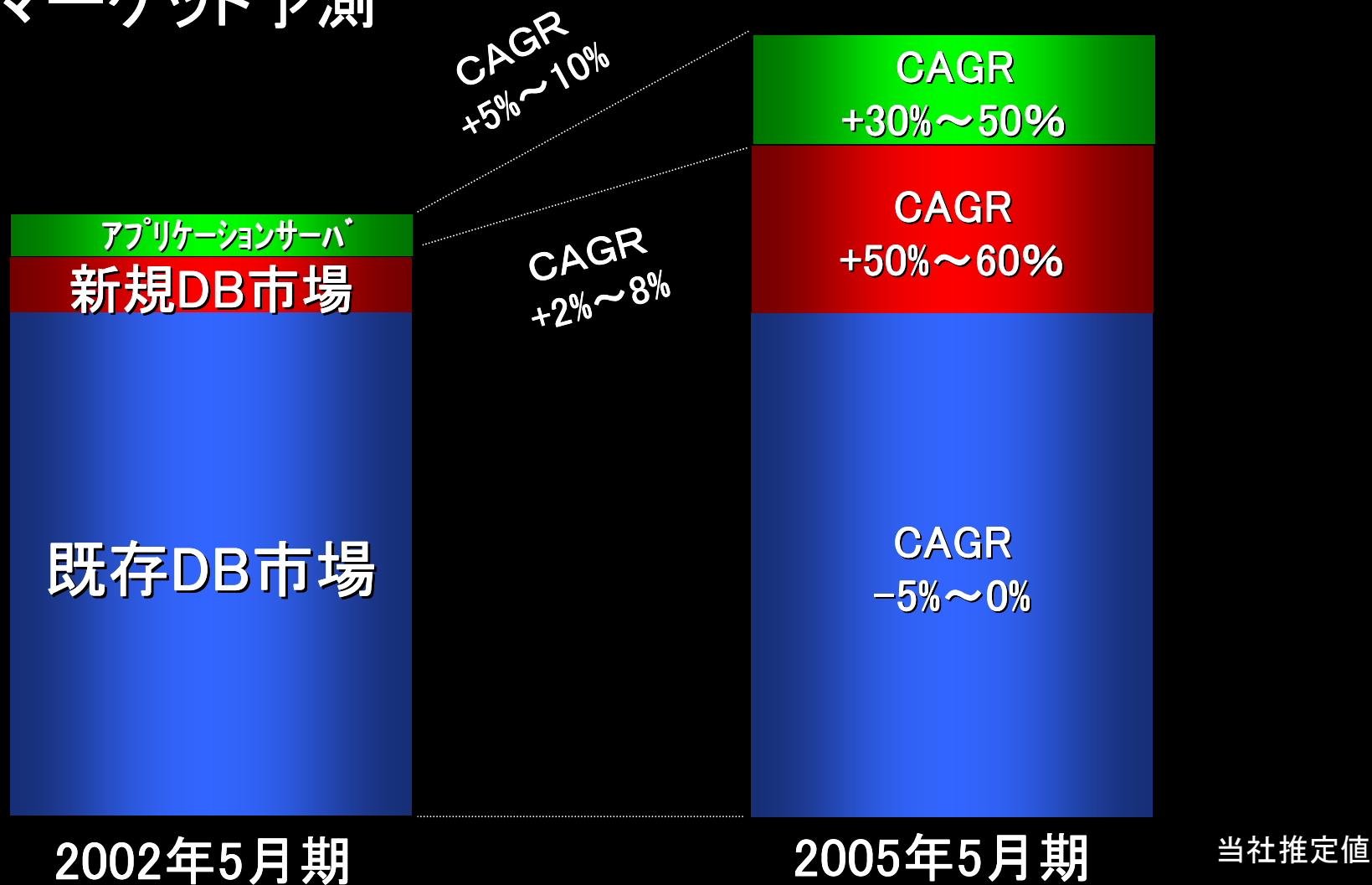
・IA64登場による成長(中長期的)  
・Oracle9i Release2

ミッドレンジ～  
ローエンド

ORACLE®

## (2) データベース・テクノロジー

### ● マーケット予測

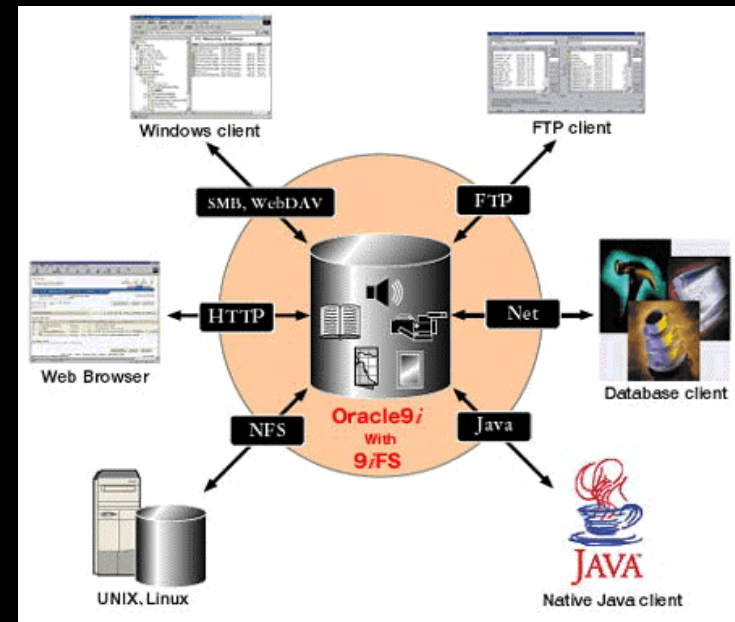


ORACLE

## (2) データベース・テクノロジー 新しい形のソリューションの提供例

### ▪ Oracle Internet File System

- あらゆるファイルを一元的に管理することで、オープン系システム環境における情報共有を効率化。
- 多様な業界標準プロトコルに対応し、専用クライアント・ソフトウェアが不要なユニバーサル・アクセスを実現



### ▪ Oracle9i Application Server

- E-Businessのニーズに合致したビジネス・インテリジェンス環境の提供
- Oracle9i Databaseとの連携したアプリケーションの作成と展開
- 企業情報ポータルによる情報共有の容易化

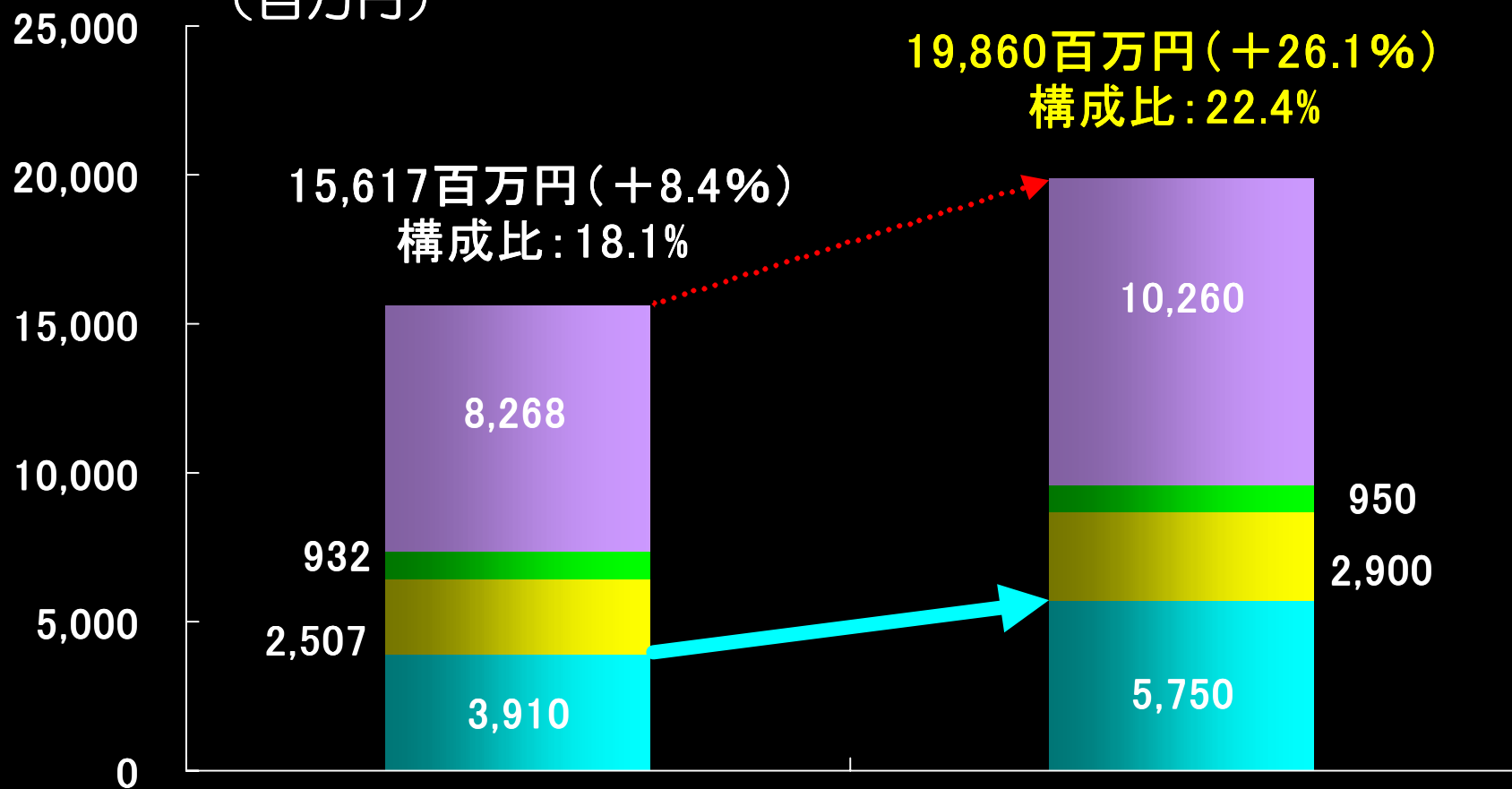
## (3) ビジネス・アプリケーション

### 販売戦略

- 既存顧客への取り組み
  - ・アップグレードの積極的な推奨
  - ・ビジネスインテリジェンス(経営分析)系モジュールの拡販
  - ・ビジネスフローベースのソリューションの提供(Fast Forward等)
- 中堅企業向け
  - ・財務会計(FIN)、人事(HR)のモジュールに要求の高い追加機能を加えたパッケージ型の販売を推進
- ソリューションラボによる、テンプレート等の開発資産の有効活用

# (4)ソリューションビジネス予想

(百万円)



15,617百万円(+8.4%)  
構成比: 18.1%

19,860百万円(+26.1%)  
構成比: 22.4%

02/5期

03/5期予想

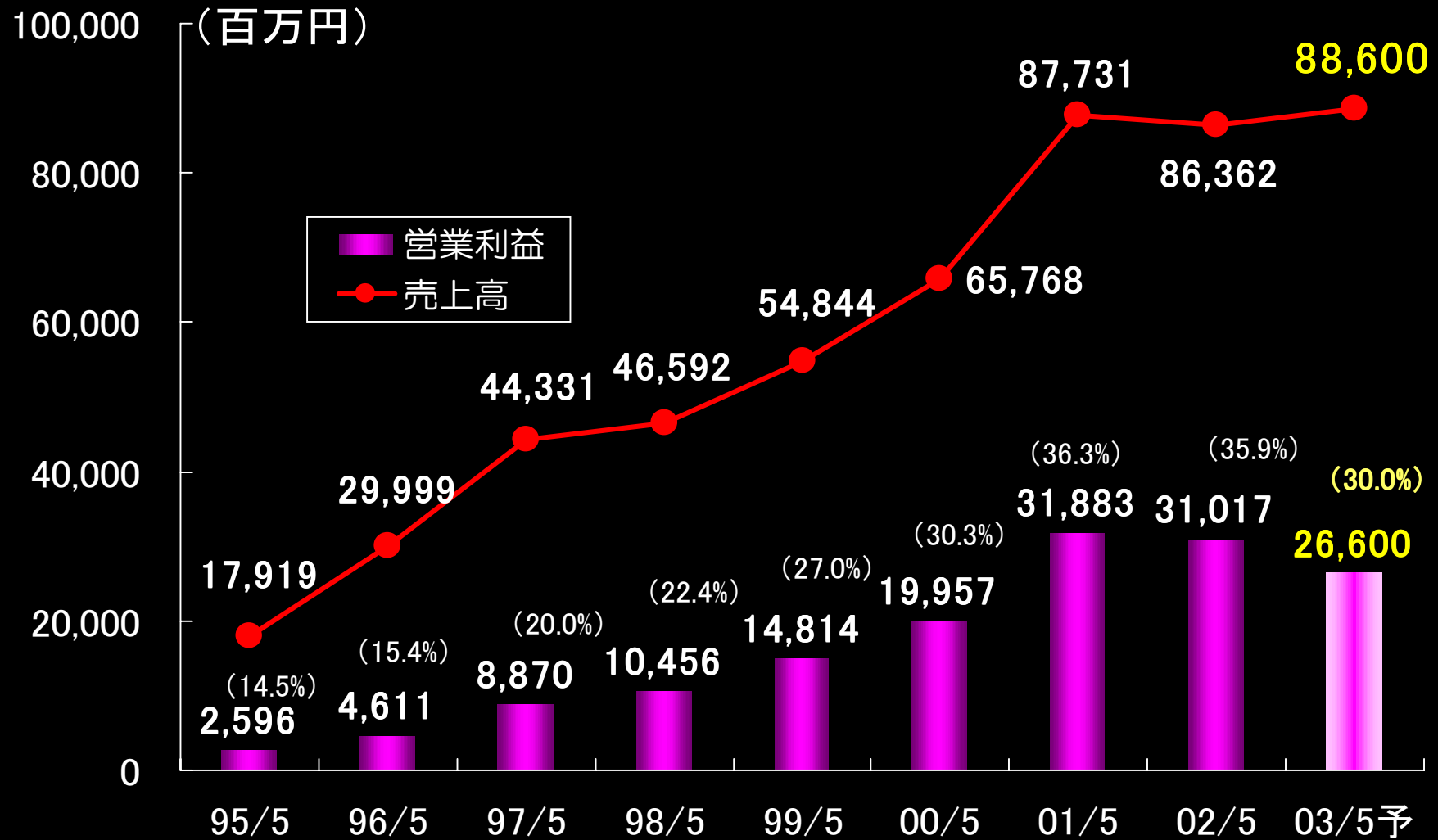
■ ライセンス

■ サポートサービス

■ エデュケーションサービス

■ コンサルティングサービス

# (5)売上高・営業利益の推移と予想



ORACLE®

(注) ( )内は営業利益率

# INVESTOR RELATIONS

取材のお申し込みやお問い合わせは以下までお気軽にご連絡ください。

ファイナンス本部 IR・企画管理部

TEL 03-5213-6666

IR Web Site <http://www.oracle.co.jp/corp/index.html>

## 注意事項

本資料に含まれている業績予想等、歴史的事実以外の事象については、本資料の発表日において入手可能な情報から判断された一定の前提に基づき日本オラクル株式会社が策定したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる可能性があることをご承知おきください。

ORACLE®